

すぎなさん



三宅小学校同窓会 会報誌

平成19年3月1日発行

Vol. 2, 第 2 号

ハイライト

昨年度から、発刊を開始いたしました三宅小学校同窓会会報誌の第2号をお届けします。毎年3月に発行いたします。

平成18年度で現在の各集落の同窓会理事の方々は退任されます。2年間ありがとうございました。来年度より、新理事の方々にお世話になることとなります。

この号の内容

| | |
|------------------|---|
| 同窓会長挨拶 学校長挨拶 | 1 |
| 同窓生寄稿 | 2 |
| 特別寄稿 同窓会費決算報告 | 3 |
| 同窓会役員名簿 編集後記 | 4 |

ご挨拶

三宅小学校同窓会長 小林和弘



同窓生の皆さん今日は、ご健勝でお過ごしのことと心からお喜び申し上げます。昨今の世情は目に余ることが多く、特に学校でのいじめ問題に端を発した生徒の自殺等痛ましいニュースがテレビ/新聞を賑わし、教育ということに無関心ではおられない状況であります。おかげさまで、我が三宅小学校では、各保護者の家庭教育は勿論のこと、先生方のご努力で、いじめ問題は無縁のものとなっておりますが、引き続き関係各位のご努力をお願いするしだいです。

少子高齢化が叫ばれる中で、上中地区の小学生数は昭和40年/平成18年の対比で三宅小163/135名(因みに、過去最大生徒数は昭和33年の266名) 野木小192/68名 熊川小124/44名 瓜生小167/140名 鳥羽小203/148名となっております。上中町の中心は三宅地区でありましたが、若狭町となり、三方にその中心が移ることとなり、三宅地区の発展にいささか心配な面もありますが、生徒数のこれ以上の減少に何とか歯止めをかけたく思っております。その為には、三宅地区民が生徒たちを温かく見守ってやり、安心して生徒が学校へ行き、満足な学校生活が過ごせる環境づくりに、更に努力したいと考えております。

同窓生の皆さんには、今後益々ご健勝にてご活躍されることをご祈念申し上げますと共に我が三宅小学校に対しまして、更なるご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

先輩，地域の皆様に感謝！

三宅小学校長 岡本繁夫



同窓生の皆さん、お元気でご活躍のこと心よりお喜び申し上げます。ご承知のように、一昨年3月末に三方町と合併し、若狭町立三宅小学校になりました。町内11小学校と2中学校で、現在の本校児童数は、6学年各1クラスの全135名(男72,女63)です。国道から少し離れて静かにたたずむ本校々舎は、既に38年前に現在の三階鉄筋校舎になり、その後、体育館落成、1周200mの排水良好のグラウンド整備、プール・斜面運動場(冬にはスキー学習の場に活用)の完成、更には図書室併用のコンピュータールームの設置と、教育環境は申し分なく、日々子ども達の教育活動に全職員全身全霊を打ち込み励んでいます。近年は、特に地域在住の諸先輩の皆様方のお力添えを戴き、低学年の読み聞かせ指導、4~6年生のクラブ活動での講師、登下校時での見守りボランティア等々と多くの地域の方の温かい見守りと支援を戴きながら、安全で恵まれた教育環境の中で子ども達は毎日勉学

に励んでいます。先輩諸氏に感謝するばかりです。また、昨秋は、恒例の三宅地区ふるさとめぐり大会が実施され、井ノ口熊野神社から登り詰めた所の『よもん平』(標高:約200m,上中中学校の裏山付近)という風光明媚な里山に地区の方々と一緒に本校児童も多数参加し、秋の自然を満喫しました。自然と人が調和した美しい環境を保全し、未来に引き継ぐためにと整備事業を懸命に進めておられる井ノ口里山を守る会の皆様のご努力に敬意を表しつつ、我が故郷にこのような素晴らしい所やこれを守る人達が居られることに子ども達と共に喜び、誇りを感じている昨今です。今後ともこの素晴らしいふる里に抱かれ、たくましく育っていく三宅の子ども達を見守り、ご指導・ご鞭撻下さいますよう心よりお願い申し上げます。本同窓会の益々の発展をお祈り致しております。

同窓生寄稿

団塊の世代

山田 善市（第51回卒 三宅区）

昭和29年1月に5村が合併し、上中町が誕生した4月に三宅小学校に入学し今年「イノシシ」の年、早いもので戦後生まれの私も還暦を迎えました。

長寿の祝いは還暦、古稀、喜寿、傘寿、米寿、卒寿、白寿の七種あると云われていますが、その中で一番最初が数え年で61歳（満60歳）です。

生まれた干支が四回り目で返るので「本卦がえり」と呼ばれ、赤ちゃんに返るということから、赤い頭巾などが贈られます。

今は平均寿命も延び実感としては薄いものがありますが、節目でもあり大事にしたいと思っています。

小学校時代「ノミ（蚤）、シラミ（虱）、回虫」は誰もが持っていました、駆除薬を飲んだ事を覚えています。今の時代とても信じられないと思います。

生活（衣・食・住）、衛生、経済、交通、学問、遊び、何一つ取っても、昔とは余りにも違いすぎる。

『経験は知恵の父、記憶は知恵の母』

当時は学校から帰ると「子ども仲間」と云う集落での子供会があり、魚釣りや、伝統行事など様々な遊びを先輩に学びながら経験した事を思い出します。

家庭や地域、すべての人が「豊かで安定した生活」を求めて、助け合いの精神で日々の生活を送っていました。

昨年の暮れに年越し用の資材を求めて山に入ったら、ビックリ！、山肌には青い葉の植物がなかったのです。動物が住む環境ではないことが伺えました。

私たち団塊の世代は戦後の貧しい時代から、高度成長によって今日の豊かな時代を段階的に経験した世代ではないかと思っています。

昔の良い慣習や、尊い教えが、紙くずの様に捨てられていく姿は、決して良い結果とはならないと思います。少しでも何かの役に立てればと思う今日です。



あたたかい思い出

野瀬美穂（旧姓 久我 第69回卒 三宅区）

私の小学校時代は平和でいい時代でした。古いアルバムを開けてみると白黒とカラーの写真。どれもなつかしく温かい気持ちになりました。

小学校の思い出は沢山あります。遠足、運動会、卓球やなわとび大会。前庭やグラウンドで遊んだこと、柔道もしました。誕生月になると、同じ誕生月の同級生と写真を撮ってもらいました。お世話になった先生方もよく覚えています。どれも楽しい、いい思い出です。

沢山ある思い出の中に学校帰りの道草があります。中でも忘れられないのは、仲良しの友達と空地に季節になると現れる毛虫を、棒の先に止まらせて遊んだ道草です。名前までつけて暗くなるまで夢中でした。今ではあきれてしまうような話ですが、楽しかった思い出として心に焼きついています。あの頃は少し暗くなっても安全で、近所の方々にあいさつしながら帰ってきました。家につくと、母手作りのおやつと笑顔の家族が迎えてくれました。嫌なことがあっても家族の顔を見たら忘れていました。

今ほどの娯楽もなく普段の楽しみは、学校・給食・道草・おやつ・ご飯・ご飯の後家族みんなでりんごやみかんを食べるのんびりしたひとときぐらいのことでしたが、とても幸せだったなと思います。三人の子供を持つ母になった今、形だけの幸せや喜びばかり与えるのではなく、私が育ててもらったような温かい家庭や地域を作り、今の子供達の心にもいい思い出が沢山出来るよう見守っていきたいと思います。



特別寄稿 第52回卒業生 同窓会開催 平成19年1月3日

「 ちゃん！ お久し振り」

宇野 隆 (第52回卒 井ノ口区)

第52回卒(1961年3月卒)の同窓会が2007年1月3日に、卒業時担任の武倉正彦先生、鹿野公夫先生をお招きして、〔いち福〕(若狭町市場)で開催されました。三宅小学校の校区である日笠地区出身者と有志が2001年1月3日に1回目の同窓会を立ち上げて以来、神谷、天徳寺と持ちまわり、今年は井ノ口・市場地区出身者が当番世話役として趣向を凝らしました。

考えてみると、小学校入学時からざっと半世紀も過ぎ去ってしまいました。しかし、同級生っていいものですね。57名中20名が集まり、会えば一瞬のうちに小学時代。「ちゃん」と呼び合い、懐かしい卒業写真を見ながら、昔話と過ぎ去った年月のギャップに笑い声が広がりました。お互いの現況を語り合ったり、欠席者からのメッセージを報告したり、校歌を歌ったり、あっという間に時間が流れ、二次会場へも多くの人が参加しました。

この会が末永く続くよう、当時の三宅小ではめずらしく2クラスあったクラス名を冠に「うめ・さくら会」と呼ぶことに決まりました。

久しぶりに青春を満喫したような気分でした。次回、元気でみんなに再会できることを楽しみに・・・



三宅小学校 同窓会費 決算報告

収入の部

| 項目 | 金額 | 備考 |
|------|---------|------------------|
| 繰越金 | 17,229 | 前年度繰越金 |
| 会費 | 117,600 | 300円×392人 |
| 入会金 | 16,000 | 同窓会入会金(500円×32人) |
| 貯金利息 | 36 | |
| 計 | 150,865 | |

支出の部

| 項目 | 金額 | 備考 |
|--------|---------|-------------------|
| 事務費 | 20,990 | 切手、葉書、封筒、封筒印刷 |
| 同窓会会報誌 | 88,537 | 同窓会会報誌印刷費、用紙、折込加工 |
| 会議費 | 12,600 | 同窓会編集委員会 |
| 計 | 122,127 | |

残金 28,738円は次年度の会計に繰り越させていただきます。

2007年3月1日

三宅小学校同窓会事務局

平成19・20年度 三宅小学校同窓会 役員名簿

三宅小学校同窓会 会報誌

同窓会事務局住所

〒919-1542

福井県三方上中郡若狭町井ノ口49-11
三宅小学校内

電話：0770-62-0005

FAX：0770-62-0038

電子メール：

miyake-es@edu.town.wakasa.fukui.jp



学校ボランティアによる平和学習

本校卒業生でもあり、校長をしておられた塚本巖さん（日笠）に来ていただき、戦争の体験談をお聞きました。

| | 氏名 | 地区名 | 氏名 | 地区名 |
|-----|-------|--------|--------------|---------|
| 会長 | 小林和弘 | 日笠 | | |
| 副会長 | 前田 勉 | 井ノ口 | 岡本繁夫 | 学校（校長） |
| 理事 | 水江博次 | 飯屋 | 松宮 亨 | 井ノ口 |
| | 塚本はるみ | 飯屋 | 河原忠信 | 天徳寺 |
| | 石田久美子 | 若王子 | 田中雅章 | 天徳寺 |
| | 玉井哲夫 | 三宅 | 田中信二 | 神谷 |
| | 西川 均 | 三宅 | 橋本孝一 | 神谷 |
| | 植田 寛 | 市場 | 田中信太郎 | 日笠 |
| | 辻本辰也 | 市場 | 川端和彦 | 日笠 |
| | 田谷 貢 | 井ノ口 | H19/H20 自治会長 | あじさい自治区 |
| 幹事 | 桧鼻幹雄 | 学校（教頭） | 高橋香苗 | 学校（事務職） |

平成19年3月で各集落の現在の理事は退任され、平成19年度より上記の方々にて理事をお世話になります。各地区の理事の任期は2年間、あじさい自治区は1年間です。

編集後記

桜のつぼみが膨らみ始めるころになると、小学生の頃、校舎周辺の桜の木の周りで遊んだことを思い出します。今も変わらぬ三宅小学校の桜の木を見るたびに、幼き日々タイムスリップするような錯覚を覚えます。

さて、昨年度より発行しておりますこの「すぎなさん」も今回で第2号となりました。同窓生の皆さんが、年に1度この同窓誌をご覧いただき、小学校時代を懐古していただくと幸いです。

また、会報誌に対するご意見、ご感想などがありましたら、どしどしお寄せください。お待ちしております。

最後になりましたが、会員の皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

平成19年2月吉日

三宅小学校同窓会 会報誌 編集委員

- ・山本博美（飯屋区理事 第60回卒）
- ・松宮 亨（井ノ口区理事 第67回卒）
- ・桧鼻幹雄（同窓会幹事）
- ・高橋香苗（同窓会幹事）

皆様の近況等、お便り頂ければ次回よりご紹介いたします。



三宅小学校ホームページ

同窓会会報誌は、三宅小学校ホームページでも配信しています。県内外でご活躍の皆様には、ホームページよりダウンロードしてご覧いただきたくよろしくお願いいたします。（会報誌は、PDF形式アップロードしてあります。）

Web サイトもご覧ください

<http://www.hokuriku.ne.jp/miyake-s/main/>